

## II 防犯

### CHAPTER 7

# 不審な声かけ・連れ去り

犯罪から身を守るために、危険と思う場所はさけ、一人で行動しないようにしましょう。犯罪に巻き込まれそうになったら、その場からすぐに逃げたり、大声で助けを求めたりしましょう。正しい判断のもとに、安全な行動をとることが必要です。



防犯ブザーを持って、よかったね。大きな声で助けを求めたのも大事だね。

できるだけ一人にならないようにしたいけど、一人になったらより注意深く行動しないとね。



できるだけ、「一人にならない」ことが大切ですが、登下校、塾や習い事の行き帰りなど、どうしても一人で行動しなくてはならない場合もあります。もし一人になったら、より注意深く行動するよう心がけましょう。「変だな」と思うようなことを言う人に出会ったら、「できません」「いやです」ときっぱり断りましょう。「こわい」と思ったら、すぐ逃げるか、大声で助けを求めて、防犯ブザーを使いましょう。

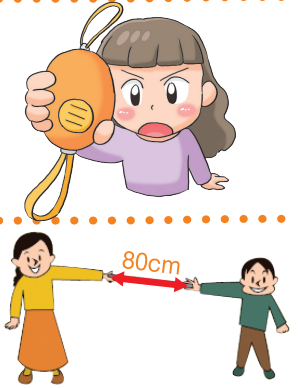
一人で歩く経路については、危険を感じたときに逃げ込める家(子ども110番の家など)やお店を日頃から家族と話し合って決めておきましょう。

犯罪被害を防ぐために、自分の身は自分で守るようにしましょう。

### Q あなたが登下校などで一人になりがちな危険と思う場所を書いてみよう

#### 身を守るための約束 (セーフティファイブ)

- ①一人にならない  
まわりから見えにくい場所、人の少ないところには一人で行かないようにしましょう。特に、トイレや子どもの集まりやすいお菓子売り場などは要注意です。
- ②ついて行かない  
人に声をかけられても、絶対について行ってはいけません。特に、「お菓子をあげる」「家まで送ってあげる」「お母さんに頼まれた」などの甘い言葉は危険です。
- ③大声を出す  
「車の中に連れ込まれそうになった」など、連れ去られそうになったり、こわいと思ったりしたら大声で周りの大人に助けを求めましょう。声が出ないときは防犯ブザーを活用するようにし、いざというときのために日頃から防犯ブザーの点検を行いましょう。
- ④近づかない  
人に声をかけられたら、「命を守る距離」(相手がうでを伸ばしても手が届かない距離)をとりましょう。危ないと思ったら、離れて、すぐに逃げましょう。
- ⑤話をする  
一人で出かける場合は、家族に「誰とどこへ行くか」「何時に帰るか」を必ず伝えましょう。日頃から家族とコミュニケーションをとって、小さなことでも何かあった場合は必ず大人に話をしましょう。



### ! 行動ポイント

一人にならない。  
すぐ逃げるか、大声で助けを求め、防犯ブザーを使おう。

犯罪被害を防ぐために、警察官や地域の人々が、危険な場所を点検し、安全な環境づくりを行っています。「子ども110番の家」や交番以外にも、コンビニなどのお店も安全な場所として知っておき、いざという時に逃げ込んで、自分の身を守りましょう。また、おかしいと思うことがあった場合はもちろん、ささいなことでも、日頃から家族や先生に伝えましょう。



「子ども110番の家」表示プレート